



県内の高校生79名が 「みやぎ防災ジュニアリーダー」に認定

12月12日（日）に多賀城市文化センターを会場に、「みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」が開催され、多賀城高校と仙南・大崎・栗原地区の20校から79名の高校生が参加しました。

本研修会は、自主防災組織等における次世代のリーダーなど将来の地域の防災活動の担い手を育成するため、平成29年度から開催しており、防災に関する知識や技術を習得し、防災や減災の取組に自発的に協力・活動する高校生を養成しています。

今回の研修を修了した生徒は、「みやぎ防災ジュニアリーダー」に認定され、今後、本県が地域防災のリーダーとして養成している「宮城県防災指導員」として認定される予定です。

研修では、東松島市立矢本第一中学校の平塚真一郎校長先生から、東日本大震災での御自身の経験や命の大切さ等についてお話をいただきました。また、東北大学災害科学国際研究所の佐藤健教授からは、ハザードマップの見方や活用の仕方等について、様々な資料やデータに基づき、詳しく講義をいただきました。

実践事例発表では、多賀城高校・角田高校・蔵王高校から、それぞれの地域の災害特性等を踏まえて実践している防災学習や避難訓練等の取組を紹介しました。

<多賀城高校・角田高校・蔵王高校の実践事例発表の様子>



ワークショップでは、大雨・洪水時におけるマイ・タイムラインを作成しました。各グループでの話し合いでは、多賀城高校の生徒がコーディネーター役を担当し、避難時に必要な情報や行動等について、災害時の支援者となる立場も考慮して活発な意見交流が行われました。

<マイ・タイムラインの作成> <振り返り（全体での共有）>



<受講した生徒の感想>

○平塚校長先生の講義では、「自ら考え、判断し、行動できる人になれ」「自分の命を守らないで他人の命は守れない」という言葉が印象に残っています。辛い思いをしている人には、そばに寄り添ってあげようと強く思いました。

○3校の発表から、それぞれの地域に合わせた避難訓練や活動の重要性を学びました。他校の事例を参考にしながら、家族や友人、地域の方々と防災意識を共有していきたいです。

○他校とのグループワークを通して、災害対策には、いろいろな考え方があり、災害発生前には何を持っていか、災害発生後には家族がどのような行動をとるかなど、防災のことをたくさん学ぶことができました。

「セーフティプロモーションスクール」認証に向けた取組紹介

「親子で防災を学ぼう！」

石巻市立石巻小学校

11月20日（土）に「石小みんなであんぜん」の日として、学年ごとに防災学習を実施しました。当日は、東北大学や地区の行政区長・学校評議員の方々にも協力をいただき、保護者や地域の方々も参観して、児童と一緒に日頃からの防災の大切さを考えました。

午後は、教職員を対象に、防災等の緊急時における対応や状況判断に関する研修を実施し、校内における安全体制の確認を行いました。

同校では、今年度末のセーフティプロモーションスクール（SPS）認証に向けて、今後も防災・安全に関する取組を続けていくとのことです。

<各学年での取組内容>

- 1・2年生：「大雨・雷から身を守ろう」「3・11の話进行こう」「新聞紙スリッパを作ろう」
- 3・4年生：MEET門脇見学、門脇小学校跡地見学
- 5年生：「学校の安全点検をしよう」「東北大学減災教育『結』プロジェクトによる出前授業」
- 6年生：みやぎ東日本大震災津波伝承館・石巻南浜津波復興祈念公園見学

<当日参加した児童・保護者・教職員の感想>

- 震災時の実際の避難ルートを登ってみて、あの日どれだけ怖いかがすごくよく分かった。【児童】
- 真剣な顔で語り部さんのお話を聞いている姿に感動しました。この先の未来、何があるか分かりませんが、もしもに備えて家族でもう一度話し合いたいと思いました。【保護者】
- 緊急時に何でも言い合える職場づくりが大切だと思った。普段から危機意識をもって気付きを共有したい。【教職員】



「セーフティプロモーションスクール」とは・・・

- 学校安全コーディネーターを軸に警察・消防・行政・自治会・家庭などと連携を図り、学校安全の取組を行っている学校を指す。（大阪教育大学が認証）
- 学校独自の学校安全（交通安全・災害安全・生活安全）の推進を目的とした3年ごとの中期目標・中期計画を設定し、その目標と計画を達成するための組織の整備とS-PDCASサイクルに基づく実践と協働、さらに分析による第三者機関の客観的な根拠に基づいた評価の共有を継続していく。
- 本県では、令和3年9月末現在、9校（小学校5校・中学校4校）が認証されている。

紹介 通学路の安全確保等に向けた取組に係る参考資料

「地域における通学路等の安全確保に向けた取組事例集」（令和3年3月文部科学省）

この事例集は、令和2年度「地域における通学路の安全確保の方策等についての調査研究」において実施した通学路の安全確保の方策等に関する都道府県、市町村へのアンケート調査結果を踏まえ、現在通学路の安全確保に向けた取り組みを実施している、あるいは今後取り組むことを検討している自治体やボランティア等に対して有用な知見となるよう、各自治体が実施する具体的な取組をヒアリング調査によって深堀し、とりまとめたものです。地域と連携した通学路等の安全確保体制の構築に向けて参考にしてください。

掲載HP https://www.mext.go.jp/content/20210405-mxt_kyousei02-mext_01335_07.pdf

